

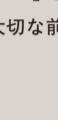
# JAZA 将来構想2025 (原案)



2025年2月

公益社団法人 日本動物園水族館協会 (JAZA)

印刷用 PDF(A3版)の  
ダウンロードはこちらから



## 「JAZA 将来構想 2025」策定の背景

### ■公益社団法人日本動物園水族館協会 (JAZA) の使命

JAZA は、「動物園・水族館事業の発展振興を図ることにより、文化の発展と科学技術の振興並びに自然環境の保護保全に貢献し、もって人と自然が共生する社会の実現に寄与すること」を目的としています。(定款 第3条)この目的を達成することが JAZA の使命であり、本将来構想策定の大切な前提条件になります。

### ■2013年に策定した「10年ビジョン」の検証

2013年にJAZAは「10年ビジョン」を掲げ、「いのちの博物館」の実現をめざし、アニマルウェルフェアの向上や種の保全活動などに取り組み、アニマルウェルフェアに関する規程の制定や、コレクション計画に基づく個体群管理の開始など、多くの成果をあげることができました。こうした事業に取り組む中で、多くの課題やさらに推進すべき新たな目標も見えてきました。

### ■動物園・水族館を取り巻く外部環境の変化

2013年以降の10年間で、動物園・水族館を取り巻く社会環境も大きく変わりました。

私たちは、人間活動による生態系の破壊、気候変動や大規模な自然災害、パンデミック、戦争や紛争、さらには世界経済の混乱など、地球規模の危機に直面しています。また国内でも、少子高齢化や過疎化、度重なる災害などによって地域社会の衰退が懸念されています。

人々の価値観は「ものの豊かさ」から「心の豊かさ」へ、世界の共有目標はSDGs（持続可能な開発）から持続可能な Well-being（良好な状態）社会の実現へと変わることが求められています。その流れを推し進めるために、多様性や地域性を尊重し、自然と共生し持続可能な社会をつくりあげなければなりません。

こうした大きな社会変動が求められる中で、動物園・水族館は、地球環境や生物多様性の保全を推進し、人類のためだけでなく地球全体を良好な状態 (Planetary Well-being) にするために力を発揮する施設でなければならず、そのためには、JAZA も、そして個々の動物園・水族館も大きく変わっていく必要があります。

### ■「将来ビジョン」の策定方針

JAZA は、こうした世界的な変化に即して、人と自然との共生社会を実現し、激変する地球環境を守るために活動します。この方針を明示するために、新たな動物園・水族館の将来ビジョン「JAZA 将来構想 2025」を策定しました。

今後、JAZA は動物園・水族館に関わるあらゆる方々と手を携え、「地球と生きもののより良い未来のためにともに行動する動物園・水族館」をめざして邁進していきます。

JAZA が  
考える

## 個々の動物園・水族館の将来ビジョン

# 地球と生きものの より良い未来のために ともに行動する 動物園・水族館

動物園・水族館は、個々の生きものやそれらを取り巻く環境、さらには地球全体で Well-being (持続的で良好な状態) が確立された世界をめざし、多様な人々とともに行動します。

個々の動物園・水族館は、より良い未来を実現するために、この「ビジョン」を将来の目標として位置づけ、その達成に向けて、すべての職員が主体的に関わります。そして、個々の生きものから地球規模までのさまざまな課題に取り組むため、仲間を増やし、協力し合いながら行動します。

4つの領域で15の方向性を定め、

アクションを起こします。この方

向性に基づく具体的なアクション

プランを策定し、5年程度で取

り組みます。

4つの領域を達成するため、

4つの目標を定め、

取り組みます。

4つの領域で15の方向性を定め、

アクションを起こします。この方

向性に基づく具体的なアクション

プランを策定し、5年程度で取

り組みます。

4つの領域で15の方向性を定め、

アクションを起こします。この方

向性に基づく具体的なアクション

プランを策定し、5年程度で取